

質問者	質 問 ・ 意 見 等	事 務 局 回 答
部会長	<p>【平成29年度の大会予算について】 来年度事業で実施するリレー放流イベントについて、購入する種苗はすべて県内で調達できるのか。</p>	<p>海へ放流するマダイ及びヒラメの種苗については、公益財団法人秋田県栽培漁業協会（第三セクター）が、男鹿市にある県水産振興センターの栽培漁業施設を借りて種苗生産している。 アユについては、種苗そのものは水産振興センターで生産しているが、中間育成を民間養殖業者が行っており、ある程度大きくなってから放流している。</p>
部会長	<p>【第39回全国豊かな海づくり大会基本構想（素案）について】 県キャラクター「んだッチ」のコスチュームデザインの募集については、前回部会の意見を反映させたのか。</p>	<p>前回の御意見を踏まえ、公募したいと考えている。</p>
部会員	<p>全般的に、センテンスが長過ぎる。 例えば、1 開催意義の（1）3行目が「形成しており～」と文章をつなげているが、「しております。また、沿岸部には～」とした方がすっきりする。 また、同6行目「海面において～、内水面において～」となっているが、「海面においては～、内水面においては～」とした方が良い。 鳥海山が出てくる箇所については、例えば、鳥海山からの伏流水の恵みによる夏の天然イワガキなど、秋田らしさを全国にPRする文言を追加してもいいかと思う。</p>	<p>次回までに検討したい。</p>
部会長	<p>北限のふぐなど、もっと秋田らしさをアピールした方がいいと思う。</p>	<p>同上。</p>
〃	<p>次の準備委員会では、素案の状態でご公表するのか。</p>	<p>第2回目の準備委員会では、今回の専門部会で出た内容を反映させた案をご審議いただき、その結果を次回の専門部会にお諮りしたい。 最終的には、第3回の準備委員会で同意いただいた基本構想案を、実行委員会に諮って成案とする予定。この時点で、基本理念等が決まるので、それに基づいて大会テーマ等の募集を開始したいと思っている。 また、なまはげに代表される来訪神信仰という文言を入れているが、現在日本遺産に申請中であり、正式に決定した場合はその旨内容変更させていただく。</p>

部会員	<p>1の(3)について、“交通路”という表現は一般的なのか。意味は分かるのだが、“交易”と表現した方がなじむ気がする。</p> <p>それ以後の表現については、昔は、昆布や魚の干物などの水産加工品も日本海沿岸一帯で作られて北前船で上方にもたらされたと言われている。そういう歴史的な水産加工品の流通についても入れた方が良い。食文化という面も追加したら良いと思う。</p>	関連文献等で確認の上、検討したい。
部会員	イワガキやトラフグなど、秋田の独自性を具体的を入れた上でアピールすると良いのではないかと。	次回までに検討したい。
部会長	“有用水産物”という言葉について、水産用語なのだろうが、一般にはわかりづらい。具体的には何か。	産業として利用可能な水産物を指している。内水面で言えば、アユやイワナ等のことである。
”	1の(1)のタイトルにある「水産業」は、海面のこと。一方、1の(2)には、主に内水面のことを書いている。どちらも同じ水産業であり、もう少し統廃合したらどうか。	<p>1の(1)でも内水面のことにも触れているし、1の(2)には、森林・河川から海にながれていくとの表現を入れている。</p> <p>全般的な自然環境のことと、海面と内水面の水産業のことまで入れてしまえば、どうしても(1)は長くなってしまふ。もう少し整理してから、次回までにメール等でお示ししてご意見を伺いたい。</p>
部会員	1の(1)では、自然環境について、“多様な自然環境を形成しており～”とあるが、秋田の海岸線の特徴を一言入れた方が良い。秋田県は、日本海側で新潟県に次いで砂浜が長いことが特徴。「砂浜が何キロにも渡っている～」というような表現を入れたらいいのではないかと。	その点は、実際問題としては水産業にとってデメリットの面もある。本県の海岸線を見ると、28%が岩礁、72%が砂浜であり、水産資源(漁獲量)が少ない一因となっているので、表現方法については検討させていただきたい。
”	<p>県の魚であるハタハタについては、3年間禁漁して資源管理に努めたことも盛り込んだ方がいいと思う。漁業者自らが、苦労しながら水産資源を営々と守ってきたということが、本県の豊かな海づくりの独自性になっていると思う。</p> <p>また、昔はもっと砂浜が広がったので、沿岸部に塩田があり、塩を作っていたという歴史がある。それが、秋田の食文化につながっている。長い海岸線を利用して、そのような沿岸部のなりわいと営みがあったということも追加していただけたらいい</p>	いただいたご意見を踏まえて、次回までに修正させていただく。特に、ハタハタの資源管理については、追記すべきだと思う。

	と思う。	
部会員	そういう意味合いで、“資源管理の先進県”というような表現を入れてもいいかもしれない。	
部会長	ハタハタの禁漁は、自然環境の保全という観点からも、世界に誇れることだと思う。	
部会員	“秋田県の沿岸は、暖流と寒流がぶつかって魚種が非常に豊富である”というように、その多様性を科学的に表現してはどうか。自然に恵まれているという意味では、秋田らしさをアピールできる大きな点かと思う。その辺をうまく捉えて、豊かな海としての秋田の特徴をもっと書いたらいいと思う。	今までのご意見について、今回の素案を見え消し版にして、後日部会員の皆さまへメールまたは郵送で送付しご覧いただきたい。そこでご意見を頂戴してから準備委員会に案として出すことにしたい。
部会長	追記だけではなく、削るべきところは削って、わかりやすくしてほしい。	一文が長くなると、どうしても間延びした印象になってしまうので、十分留意したい。
部会員	1の(1)8行目あたりから、問題点を列記しているが、ここは開催意義を記載する箇所なので、この部分に入れるべきなのか。	次回までに検討したい。
部会長	1の(1)と(2)で、“自然環境の保全”という意味合いが、重複しているように感じる。	同上
部会員	1では、開催の意義を記載するのであり、ここで問題点や課題をあえて書かなくてもいいのではないか。	同上
部会員	問題点を記載する場合であっても、それを列記するだけでなく、“その問題点を解決するために〇〇する”というように、もっとポジティブに書いてほしい。	2の基本理念の箇所に、課題を解決するために行う取組を書くなど、もう一度表現と構成を精査し、皆さまにご指導いただきたい。
部会長	秋田県民歌のフレーズを、1(1)の下から3行目にある“本県における”の前に追加してはどうか。	次回までに検討したい。
〃	1の開催意義以外の箇所でも、何か御意見はないか。	

<p>部会員</p>	<p>3の基本方針について、(4)豊かな自然環境の保全を、一番最初にもってきて、自然環境を保全しながら水産業を育てるといような形にしてはどうか。</p> <p>また、(4)のタイトルを、“豊かな自然環境を活用した水産業の発展”などとしてはどうか。少量で多様な魚種をネガティブに捉えるのではなく、ポジティブにもっていきけるような方向性を提示して、将来を見据えるようにすべきかと思う。秋田県は、立地上養殖業に向かない県であるので、他県と同じような内容で基本方針を作成するのはどうかと思う。</p> <p>こうした立地条件を逆手にとって、本県がもっている特性を利用して、独自の水産業を振興していくという決意を表明すべきと思う。</p>	<p>3の(4)にある“豊かな海につながる森づくりや川づくり等”の部分についてだが、過去の大会と重複したテーマということもあり、もっと抽象的に書いた案もあったが、そうすると基本方針の具体性が見えなくなってしまうという危惧があった。事務局としては、(2)“つくり育てる漁業の進化・発展”と(3)“観光と水産の融合”は、項目として残したいと考えている。</p> <p>構成と御指摘の件については、再検討したい。</p>
<p>部会長</p>	<p>今あった順番については、水産業の振興という全国豊かな海づくり大会を推進する観点からの考え方もあると思うので、検討してもらいたい。</p>	
<p>部会員</p>	<p>【大会テーマ等の公募方針（案）について】</p> <p>公募募集チラシを作成すると思うのだが、大会テーマとキャラクターデザインの両方を、いっしょに応募しないといけないのか。それとも、テーマのみ、デザインのみでの応募でいいのか。いっしょに募集するのであれば、表彰が、両者で最優秀賞1点なのか、それとも各1点なのか、もっと明確に示した方がよい。</p>	<p>H30開催の高知県では、先月2月に募集を終了したところ。H29開催の福岡県でも、年をまたいで募集している。それと同列とすれば、本県の募集も来年になってもいいと考えている。本年7月に実行委員会が設立した場合、今回の基本構想（案）が成案となるので、その基本理念を募集チラシに入れて公募を開始できる体制が整う。募集を早く開始できれば、テーマとキャラクターデザインを別々に募集することも可能だと考えられる。過去の全国植樹祭秋田大会では、テーマやキャラクター、愛称等を別々に募集していた事例もある。</p>
<p>部会長</p>	<p>第1回目の本部会で示していた募集開始時期が、今回の案では3ヵ月程遅れるようだが、大丈夫か。</p>	<p>第2回の準備委員会で公募方針（案）を提示し、その段階で大きなコンセプトは変わらないということで委員の方々から了承を得られれば、募集を開始することはできるが、基本構想が固まられない段階で開始した結果、その後構想に変更が出てきた場合は、後戻りできず望ましくないと考えている。事務局としては最低、年度内に決まれば問題ないと考えている。</p>
<p>部会員</p>	<p>来年度完成予定の水産業のPR映像・冊子等へ、大会キャラクターは入るのか。</p>	<p>既に業務委託として発注済みであり、企画提案競技会で決定した委託業者の提案の中には、当然ながら大会キャラクターを入れ込む内容はない。しかし、大会キャラクター</p>

<p>部会長</p>	<p>募集チラシに書く大会の開催目的は、福岡県の事例を参考にしたのか。</p>	<p>は積極的に活用すべきだと考えているので、来年3月いっぱいまでの契約期間のため、編集作業等でキャラクターを出すということも対応可能かと思う。</p> <p>大会の開催目的自体は、全漁連の中にある全国豊かな海づくり推進委員会が既に定めたものがある。チラシに記載する開催理念等は、基本構想の承諾されたものを載せることになる。</p>
<p>部会員</p>	<p>【開催候補地の絞り込み（案）について】 本大会以外の行程の中で、参加者が様々な市町村や場所、施設を視察すると思われるので、それらのことは絞り込み（案）の選定基準に入っているか。</p>	<p>本大会以外については、選定基準に入れていない。この基準は、あくまで本大会の式典場所と海上歓迎・放流場所を選定するためのものである。海づくり大会の開催がメインなので、まずは大会会場を選定することが先決と考える。</p>
<p>部会長</p>	<p>これから関係市町村とヒアリングを行うようだが、大会会場がクリアしなければならぬ基準等を、事務局として丁寧に説明した上で、意見を聴取してもらいたい。</p>	<p>承知した。</p>
<p>部会員</p>	<p>1市町での開催を原則とするとの説明があったが、式典と放流とを隣接する市町で分割開催することも可能ではないか。</p>	<p>過去の36回の大会のうち、海面で行った大会では、3回だけ異なる市町村での開催となっている。H29福岡は1市だが、H30高知では2市での開催のようだ。高知の場合は、式典と放流の会場間距離が10kmちょっと近いので、移動時間がそれほどかからないように見える。県内の地域バランスや本大会を開催するに当たってのスケールメリットなど総合的に考慮すれば、会場間距離が離れているよりも、より近い方が望ましいものと考えた。</p>
<p>部会員</p>	<p>全ての候補地を地図で示してほしい。主な交通機関の位置等も確認したい。</p>	<p>承知した。次回、提示したい。</p>
<p>部会長</p>	<p>格式のある全国大会のため、参加者に対する安全対策等には十二分の留意が求められるものと推察される。</p>	